プリウスナビを楽しもう！

—Prius Navistation4—

３Ｄライブラリ・DVD・CD

HITACHI
Inspire the Next

DVDを見る、CDを聴く 1

設定を変えて、もっと使いやすく 2

映像データを管理、編集しよう 3

動画Q&A 4

Prius

3

マニュアルはよく読み、保管してください。

■製品を使用する前に、安全上の説明をよく読み、十分理解してください。

■このマニュアルは、いつでも参照できるよう、手近な所に保管してください。

こんなことができます

パソコンで動画を見る。録画する。DVD を見る。CD を聴く。欲しい情報を手に入れる。
あなたの楽しみが、欲しいものが、すべてここにつまっています。

パソコンで動画や DVD を見る

パソコンで動画や DVD を見たい。
そんなときには、「Prius Navistation4」(以下、プリウスナビ)を使ってください。パソコンを使いながら動画や DVD を見たり、CD を聴いたりすることができます。

パソコンで映画を鑑賞する

パソコンで、DVD ソフトの映画を鑑賞するときは、ドルビーヘッドホンやドルビーバーチャルスピーカーで、臨場感あふれるサウンドを楽しめます。

このマニュアルの使い方

このマニュアルは、あなたがパソコンで動画や DVD を楽しんだり、CD を聴いたりするための案内書です。ここでは、このマニュアルの使い方や読み進め方を説明します。

「1 章 DVD を見る、CD を聴く」

DVD を見たり、CD を聴いたりする方法について説明しています。

「2 章 設定を変えて、もっと使いやすく」

いろいろな設定を変更する方法を説明しています。

「3 章 映像データを管理、編集しよう」

動画などのデータファイルを編集したり、保存する方法について説明しています。

「4 章 動画 Q&A」

動画機能についてわからないことがありましたら、ここをお読みください。
対処方法を説明しています。

マニュアルの表記について

重要	重要事項や使用上の制限事項を示します。
ヒント	パソコンを活用するためのヒントやアドバイスです。
参照	参照先を示します。
HDD	ハードディスクドライブを表記します。
CD/DVD ドライブ	DVD スーパーマルチドライブなどの光学式ドライブをまとめて表記します。
Windows、Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Edition または、Microsoft® Windows® XP Professional を表記します。

・マニュアル内で使用している画面およびイラストは一例です。機種によっては、異なる場合があります。説明の都合で、画面のアイコンやイラストのケーブルなど、一部省略している場合があります。
・URL、お問い合わせ先、画面などは、マニュアル制作時点のものです。

重要なお知らせ

・本書の内容の一部または全部を無断で複写することは、禁止されています。
・本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
・本書の内容について、万一ご不審な点や誤りなどお気付きのことがありましたら、お買い求め先へご一報くださいますようお願いいたします。
・運用した結果の影響については上記の項にかかわらず責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
・装置やソフトウェアなどの不具合により、録画・録音・再生されない場合でも、記録内容についての責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

もくじ

こんなことができます

このマニュアルの使い方 1

もくじ 3

1 章 DVD を見る、CD を聴く

DVD を見てみよう 6

再生から停止、取り出しまで 6
DVD のメイン・メニュー画面を表示しよう 7
いろいろな操作はこの画面で 8
言語や字幕を切り替える 11
全画面表示で操作する 11
終了する 12
DVD-RAM を再生する 12

2 章 設定を変えて、もっと使いやすく

設定を変えるには 14

変えたいこと一覧 15

3 章 映像データを管理、編集しよう

映像データファイルを管理する 22

ディスクに移動する 22
映像データを削除する 24

画像データを保存する 25

画像データを見る / 音声データを聴く 26

画像データを印刷する 27

映像データを収録、編集、保存しよう 28

映像データを収録、編集、保存する流れ 28
映像データをディスクやデジタル機器に出力する 29
映像を DVD-RAM に保存する 29
DVD-RAM のデータをコピーする 31

4 章　動画 Q&A

Q&A 34
さくいん 37

1章

1章 DVDを見る、CDを聴く

パソコンでDVDやCDを楽しみましょう。ヘッドホンやスピーカーで臨場感あるサウンドを、光デジタルオーディオ出力端子でAVシステムと接続して、大迫力のサウンドを楽しむこともできます。

>> ・DVDを見てみよう (P.6)

DVD を見てみよう

ここでは、DVD を見たり、CD を聴いたりする方法を説明します。
スピーカーからは、ドルビーバーチャルスピーカーにより、疑似デジタルサウンドが楽しめます。お手持ちのヘッドホンをパソコンに接続すると、ドルビーヘッドホンのリアルで迫力のあるデジタルサウンドが楽しめます。

参照

・ヘッドホンの接続について→電子マニュアル『パソコン応用』3 章の「ヘッドホン、マイクを接続する」
・ドルビーヘッドホン / ドルビーバーチャルスピーカーの設定について→ 2 章の「変えたいこと一覧」(P.15)

再生から停止、取り出しまで

重要

- DVD 再生中に Windows の [ユーザーの切り替え] を行った場合、DVD 再生は自動的に停止します。DVD 再生中は [ユーザーの切り替え] を行わないでください。
- DVD を再生するには、「 WinDVD 」と「 WinDVDX 」がセットアップされている必要があります。
  購入時にセットアップされています。
- 「 DTS 」デコードには対応していません。音声が出ない場合は、DVD メディア自体のメニューから「 Dolby Digital 」を設定してください。

1 パソコンの電源を入れる

パソコンが立ち上がります。

2 デスクトップの [Prius Navistation4] アイコンをダブルクリック

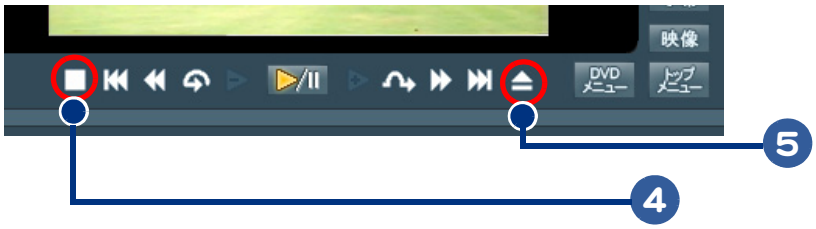
[TOP] モード画面が表示されます。

3 プリウスナビが立ち上がっている状態で DVD や CD を入れ、[DVD/CD] ボタンをクリック

DVD や CD が再生されます。

4 停止するときは、[停止] ボタンをクリック

5 DVD や CD を取り出すときは、[イジェクト] ボタンをクリック



DVD のメイン・メニュー画面を表示しよう

DVD によっては、メイン・メニュー画面でチャプターリストを見たり、音声や字幕を切り替えることができます。

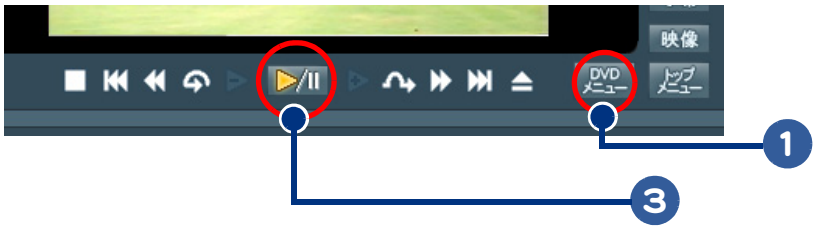
1 再生中に、[DVD メニュー] ボタンをクリック

メイン・メニュー画面が再生されます。

2 好きなメニューをクリック

クリックした先にジャンプします。

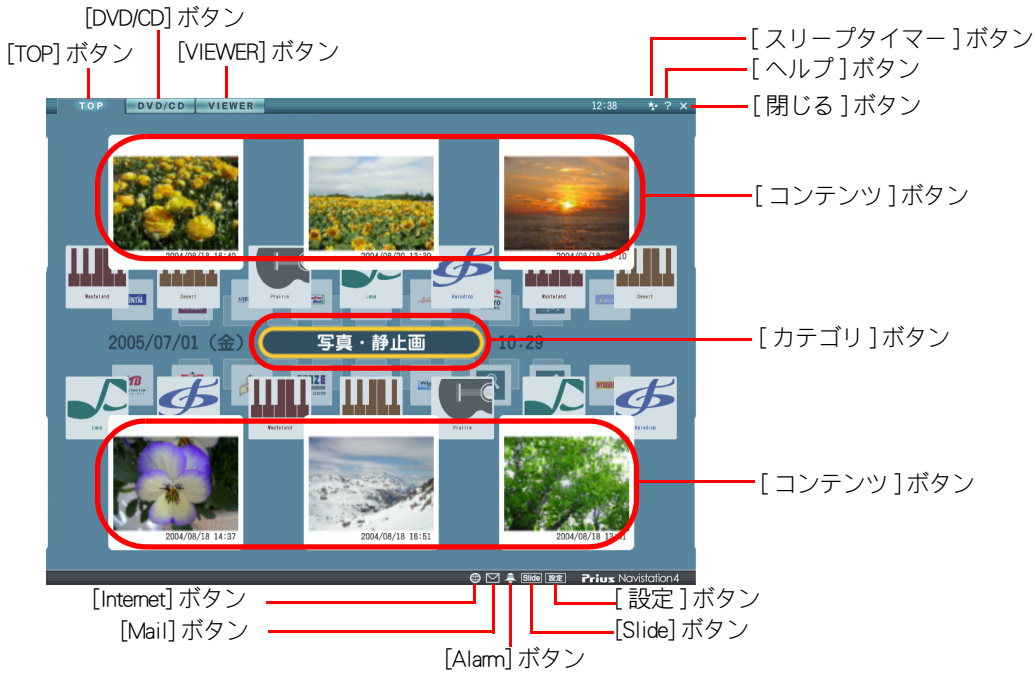
3 通常の DVD 再生に戻すには、[再生 / 一時停止] ボタンをクリック



いろいろな操作はこの画面で

プリウスナビを立ち上げると、「3D ライブラリ」が表示されます。
いろいろな操作はこの画面から行います。

[TOP] ボタンをクリックした場合



・画面中央の [カテゴリ] ボタンにフォーカスがある場合は、Z スクロール
・画面上下の [コンテンツ] ボタンにフォーカスがある場合は、X スクロール

ヒント
- フォーカス：[カテゴリ] ボタンや [コンテンツ] ボタンを選択して、ボタン周囲が黄色になる状態
- Z スクロール：コンテンツが画面の奥から手前に動きながら表示される状態
- X スクロール：コンテンツが画面の左から右に動きながら表示される状態
- 5 分以上放置すると、約 30 秒ごとにスクロール方向が切り替わります。

項目		説明
[TOP] ボタン		動画や静止画などを一覧表示します。
	マウス操作	X スクロール中に手前の [コンテンツ] ボタンをクリックすると再生します。
		Z スクロール中に画面奥の [コンテンツ] ボタンをクリックすると手前に表示し X スクロールします。
		画面奥の [コンテンツ] ボタンをクリックすると、手前に表示されます。
	キーボード操作	[↑][↓][→][←] キーでフォーカスを移動します。
		[Enter] キーでフォーカスのある [コンテンツ] を再生します。
[DVD/CD] ボタン		DVD を見たり、CD を聴いたりするときに使います。
[VIEWER] ボタン		動画や静止画などを再生するときに使います。
[スリープタイマー] ボタン		設定時間になると、自動的に電源が切れます。
[ヘルプ] ボタン		ヘルプを表示します。
[閉じる] ボタン		[プリウスナビ] 画面を閉じます。

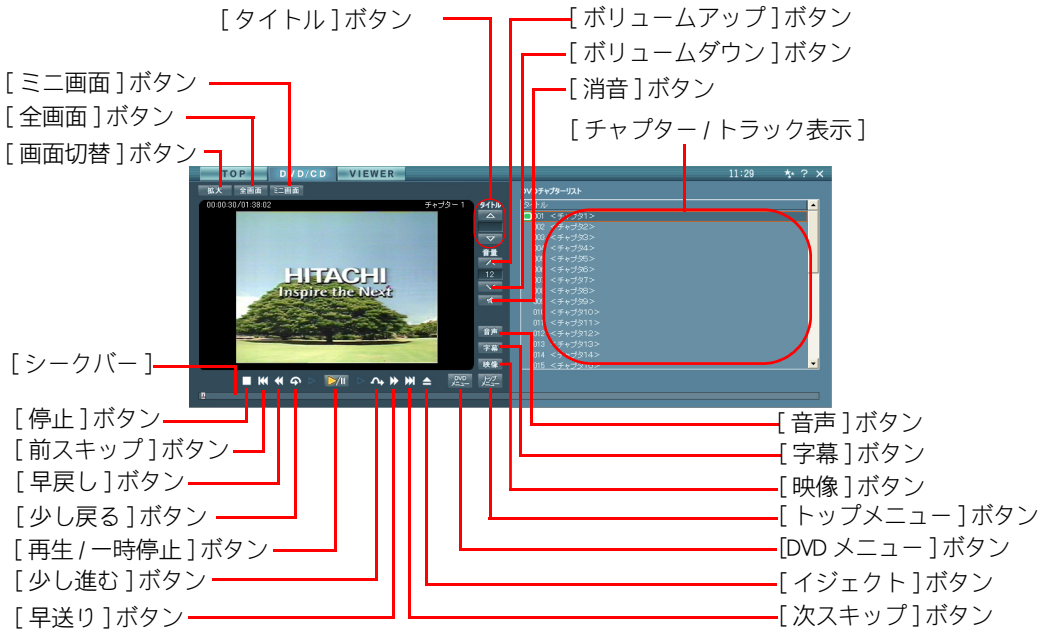
項目		説明
[カテゴリ] ボタン		表示する [コンテンツ] を変更します。
	メール	未読メールや受信したメールを表示します。
	動画	動画ファイルを表示します。
	写真・静止画	写真、静止画を表示します。
	音声	音声ファイルを表示します。
	リンク集	あらかじめ設定した、よく使うホームページを表示します。
[コンテンツ] ボタン		[コンテンツ] を表示します。
[Internet] ボタン		OS で設定したブラウザーを立ち上げます。
[Mail] ボタン		OS で設定したメーラーを立ち上げます。
[Alarm] ボタン		[ALARM の設定ダイアログ] を表示します。
[Slide] ボタン		スライドショー用の静止画を、順番に表示します。
[設定] ボタン		詳細な設定を変更するための画面を表示します。

重要
- スリープタイマーを設定する場合は、あらかじめプリウスナビ以外のアプリケーションをすべて終了させてください。

ヒント
- [スリープタイマー] ボタンをクリックするたびに「120」→「60」→「30」→「(なし)」と設定を変更できます。例えば「120」に設定すると 120 分後に電源が切れます。
- メールの表示は、常時接続時のみ使用できます。
- 「写真・静止画」は 3D ライブラリの表示をフォルダー毎に設定することができます。

参照 フォルダー表示設定について→ 2 章の「[TOP] タブ画面」(P.17)

[DVD/CD] ボタンをクリックした場合

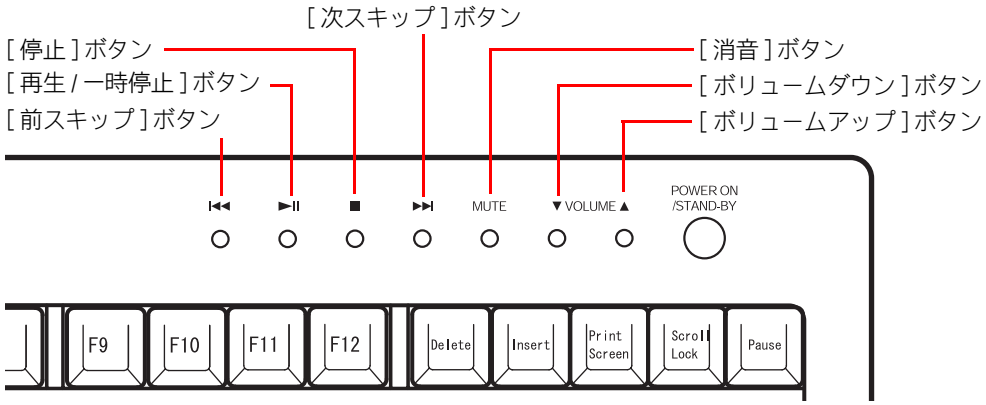


重要
- DVD によっては、機能がないため動作しないボタンもあります。

項目	説明
[タイトル] ボタン	複数のタイトルがある場合、タイトルを切り替えます。
[ボリュームアップ] ボタン	音量を上げます。0 → 99
[ボリュームダウン] ボタン	音量を下げます。99 → 0
[消音] ボタン	音を消します。消音を解除するときは、もう一度クリックしてください。
[チャプター / トラック表示]	再生中のチャプターやトラックが表示されます。クリックすると、再生したいチャプターやトラックを直接選ぶことができます。
[音声] ボタン	音声を切り替えます。
[字幕] ボタン	字幕を切り替えます。
[映像] ボタン	アングルを切り替えます。
[トップメニュー] ボタン	DVD のトップメニューを表示します。
[DVD メニュー] ボタン	DVD のメインメニューを表示します。
[イジェクト] ボタン	CD/DVD ドライブのトレーを開きます。
[次スキップ] ボタン	次のチャプターやトラックに移動します。
[ミニ画面] ボタン	DVD の映像を小さく表示 (ミニ画面表示) します。
[全画面] ボタン	DVD の映像をデスクトップ全体に表示します。元に戻すときは、キーボードの [Esc] キーを押します。
[画面切替] ボタン	DVD の映像を、拡大画面と標準画面に切り替えます。
[シークバー]	左右へドラッグすると、好きなシーンへジャンプします。
[停止] ボタン	再生を停止します。
[前スキップ] ボタン	前のチャプターやトラックに移動します。
[早戻し] ボタン	早戻しをします。解除するときは、[再生 / 一時停止] ボタンをクリックしてください。
[少し戻る] ボタン	一定時間再生シーンを戻します。
[再生 / 一時停止] ボタン	DVD や CD を再生 / 一時停止します。
[少し進む] ボタン	一定時間再生シーンを進めます。
[早送り] ボタン	早送りをします。解除するときは、[再生 / 一時停止] ボタンをクリックしてください。(DVD 再生時のみ)

キーボードで操作する

DVD や CD の再生時、デスクトップ用キーボードにプリウスナビのボタンが、次のように割り当てられます。キーを押すと、対応するプリウスナビのボタンをクリックしたときと同じ操作ができます。



言語や字幕を切り替える

1 目的に合わせて[音声][字幕][映像]などのメニューをクリック

重要 ● DVD によっては、この操作方法で正常に切り替えられないものもあります。その場合は、[トップメニュー] ボタン、または [DVD メニュー] ボタンをクリックして切り替えてください。

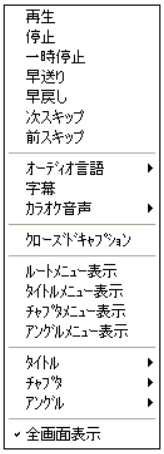
全画面表示で操作する

DVD の再生画面を、全画面表示に切り替えたときも、次の操作で、「停止」「早送り」「早戻し」などができます。

1 再生中に、画面上で右クリック

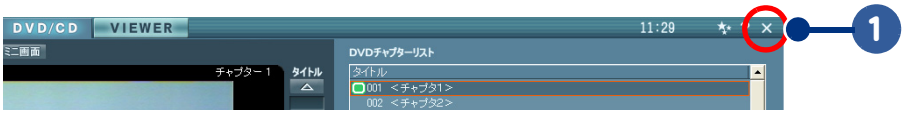
メニューが表示されます。

2 「一時停止」や「早送り」などの操作項目をポイントし、クリック



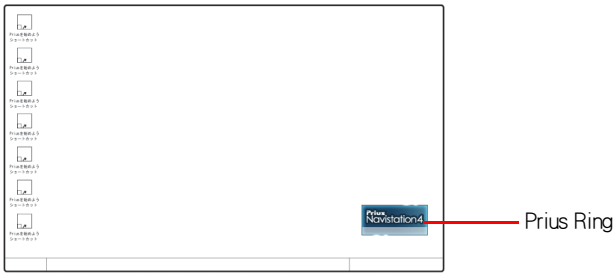
終了する

1 [閉じる] ボタンをクリック

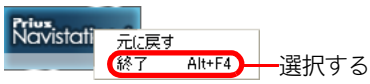


2 プリウスナビ画面が閉じる

[設定] − [TOP] で [起動時に常駐する] を設定した時は、デスクトップに [Prius Ring] が表示されます。



ヒント
- [Prius Ring] が設定されている場合はプリウスナビの [閉じる] ボタンをクリックしても、プリウスナビは、完全に終了しません。
- [Prius Ring] をクリックすると、プリウスナビが立ち上がります。
- プリウスナビを完全に終了させるときは、[Prius Ring] を右クリックし、[終了] を選択します。



参照 [Prius Ring] の設定方法について→ 2 章の「[TOP] タブ画面」(P.17)

DVD-RAM を再生する

ここでは、DVD-RAM のタイトルを変更して再生する方法を説明します。

1 DVD-RAM 再生中に、[タイトル] をクリックし番号を選択する

ヒント
- DVD-RAM などでは [トップメニュー] や [DVD メニュー] の表示はできません。
- [タイトル] をクリックしたときに表示される番号は、録画した番組順になっています。

2章

2章 設定を変えて、もっと使いやすく

あなたのお好みに合わせて、いろいろな設定を変えてみましょう。
ほとんどの変更が同じ画面でできますので、変更用画面の表示方法を覚えておくと便利です。

>> ・設定を変えるには (P.14)
>> ・変えたいこと一覧 (P.15)

設定を変えるには

ここでは、設定を変えるための画面を表示させる方法について説明します。

1 [プリウスナビ] 画面右下の [設定] ボタンをクリック

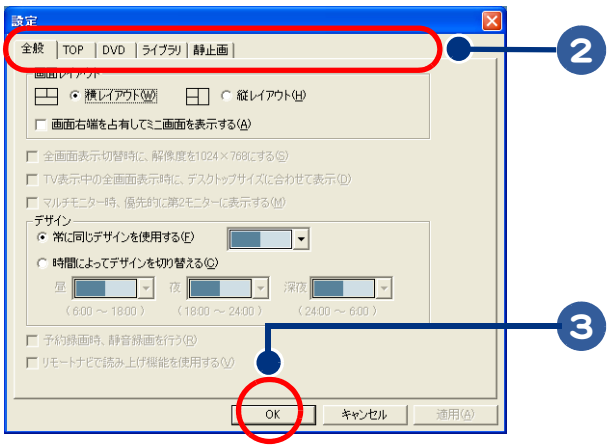
[設定] 画面が表示されます。

2 変更したい内容に合わせて、各タブをクリック

変更できる内容については、次の「変えたいこと一覧」をご参照ください。

3 設定の変更が終わったら、[OK] ボタンをクリック

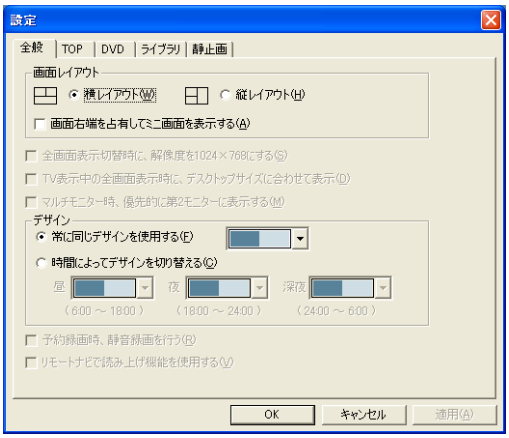
設定内容が保存され、[設定] 画面が閉じます。



変えたいこと一覧

ここでは、プリウスナビの［設定］画面で変更できる内容を説明します。

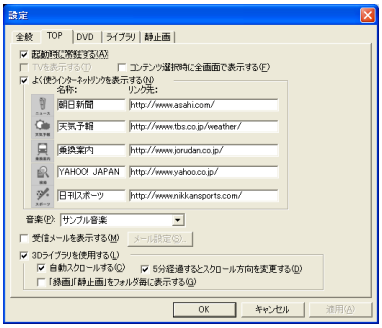
［全般］タブ画面



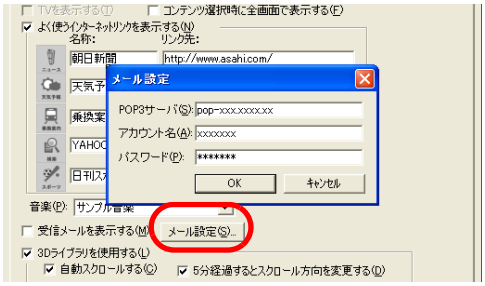
項目	説明
横レイアウト / 縦レイアウト	画面のレイアウトを横 / 縦のどちらかに設定できます。縦レイアウト表示に設定した場合は、次のようになります。 (解像度 1024 × 768 の場合)
画面右端を占有してミニ画面を表示する	ミニ画面を、デスクトップの右端に表示することができます。
全画面表示切替時に、解像度を 1024 × 768 にする	全画面表示機能にするとき、解像度を 1024 × 768 に変更する場合は、ここにチェックを入れます。全画面表示をやめると、自動で元の解像度に戻ります。ディスプレイがワイド画面のときのみ設定できます。
TV 表示中の全画面表示時に、デスクトップサイズに合わせて表示	設定できません。
マルチモニター時、優先的に第 2 モニターに表示する	機種によっては、使用できません。マルチモニター表示で『プリウスナビ』を第 2 モニターに表示したい場合は、ここにチェックを入れます。 マルチモニター表示をやめると、自動で元の表示に戻ります。
デザイン	8 種類の色から選択、変更できます。
常に同じデザインを使用する	ここにチェックを入れると、常に同じデザインを使用することができます。
時間によってデザインを切り替える	ここにチェックを入れると、設定した時間にデザインを変更することができます。
録画予約時、静音録画を行う	設定できません。
リモートナビで読み上げ機能を使用する	設定できません。

ヒント
- このマニュアルでは、横レイアウトで説明しています。
- 「画面右端を占有してミニ画面を表示する」にチェックを付けると、ミニ画面は右端に固定されます。
- 解像度の切り替えには数秒かかります。

[TOP] タブ画面



メール設定画面



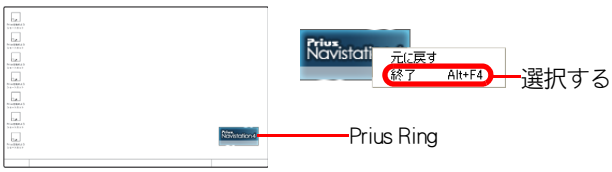
項目	説明
起動時に常駐する	パソコンを立ち上げたときに、プリウスナビを常駐させ、デスクトップに[Prius Ring] を表示します。
TV を表示する	設定できません。
コンテンツ選択時に全画面で表示する	TOP モードでコンテンツをクリックしたときに、全画面で表示します。
よく使うインターネットリンクを表示する	よく使うインターネットリンクの表示 / 非表示を切り替えます。 チェックを付けると表示します。名称とリンク先の変更ができます。
音楽	TOP 画面で再生する音楽フォルダーを指定します。
受信メールを表示する	TOP 画面に受信メールを表示します。
メール設定	POP3 サーバ、アカウント、パスワードを入力しメールサーバーの設定を行います。
3D ライブラリを使用する	TOP 画面に 3D ライブラリを表示します。
自動スクロールする	TOP 画面の表示を切り替えます。 チェックを付けると 3D ライブラリが自動スクロールします。
5 分経過するとスクロール方向を変更する	5 分経過するとスクロール方向を変更します。
「録画」「静止画」をフォルダ毎に表示する	3D ライブラリで表示する「写真・静止画」をフォルダー毎に表示します。

重要

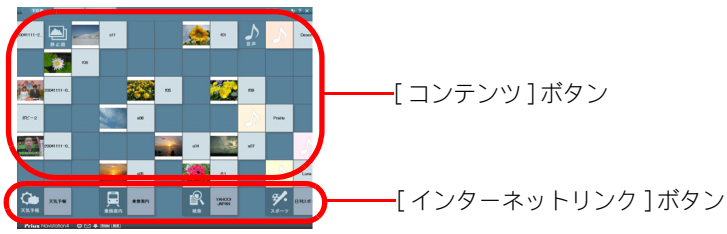
- [受信メールを表示する] 機能は、常時接続時のみに動作します。TOP 画面に切り替えた時にサーバーにアクセスして受信メールを更新します。

ヒント

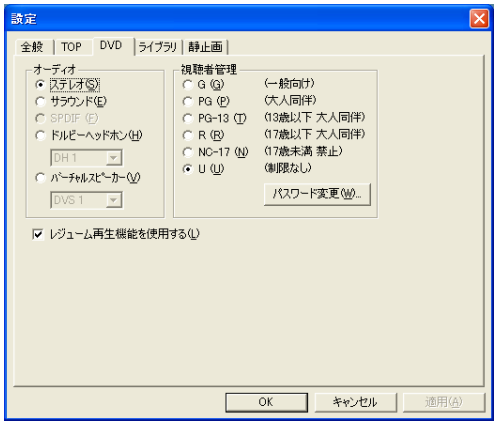
- [起動時に常駐する] を指定した時はプリウスナビの [閉じる] ボタンをクリックしても、プリウスナビは、完全に終了しません。
- [Prius Ring] をクリックすると、プリウスナビが立ち上がります。
- プリウスナビを完全に終了させるときは、[Prius Ring] を右クリックし、[終了] を選択します。



- [3D ライブラリを使用する] を指定しない時は [TOP] 画面は下の画面へ切り替わります。



[DVD] タブ画面

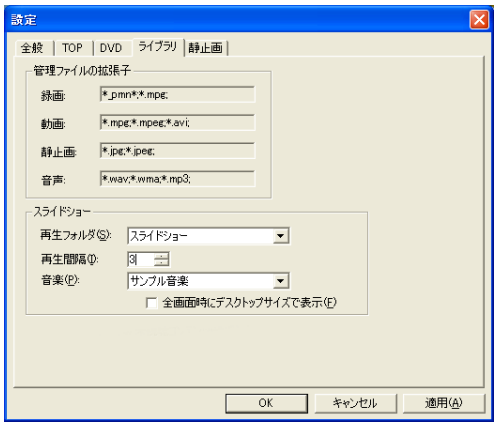


項目	説明
オーディオ	音声の状態を切り替えます。
ステレオ	音声をステレオに切り替えます。
サラウンド	音声をサラウンドに切り替えます。
SPDIF	音声を光デジタル音声出力に切り替えます。
ドルビーヘッドホン	ヘッドホンを使用して、[ドルビーヘッドホン] を選択した場合は、さらに次の指定をします。 DH1：小さな部屋 (家庭のリビングルームなど) で聴いている状態に近づけたいときに選びます。 DH2：ライブハウスなどの、やや残響感のある部屋で聴いている状態に近づけたいときに選びます。 DH3：コンサートホールや映画館などの、広い空間で聴いている状態に近づけたいときに選びます。
バーチャルスピーカー	スピーカーを使用して、[バーチャルスピーカー] を選択した場合は、さらに次の指定をします。 DVS1：小さな部屋 (家庭のリビングルームなど) で聴いている状態に近づけたいときに選びます。 DVS2：ライブハウスなどの、やや残響感のある部屋で聴いている状態に近づけたいときに選びます。 DVS3：コンサートホールや映画館などの、広い空間で聴いている状態に近づけたいときに選びます。
視聴者管理	DVD の視聴制限レベルを変更します。[パスワードの変更] 画面が表示されたら、各欄を入力して、[OK] ボタンをクリックしてください。 パスワードを設定したあとで視聴制限レベルを変更すると、[視聴制限パスワード] 画面が表示されます。パスワードを入力して、[OK] ボタンをクリックしてください。
[パスワード変更] ボタン	すでに設定してあるパスワードを変更します。
レジューム機能を使用する	前回 DVD 再生を停止した位置から再生します。(DVD タイトルによっては一部のシーンでこの機能は使用できません。)

重要

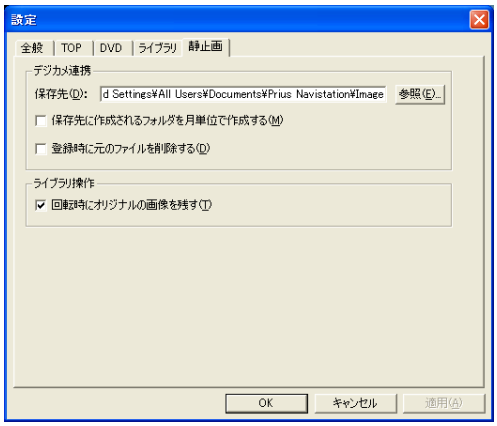
- 「コンピューターの管理者」でないユーザーは、オーディオ以外の項目 (視聴者管理、パスワード変更など) を設定できません。
- 光デジタルオーディオ出力端子のないモデルは、[SPDIF] を設定できません。
- DVD/CD モードでないと [視聴者管理]、[パスワード変更] を設定できません。
- [視聴者管理] は、制限情報を含んでいない DVD を視聴するときには、機能しません。

[ライブラリ] タブ画面



項目		説明
管理ファイルの拡張子		管理するファイルの拡張子を表示します。
スライドショー		
	再生フォルダ	[Slide] ボタンをクリックした時に、再生する静止画フォルダーを設定します。
	再生間隔	[Slide] ボタンをクリックした時の再生間隔を設定します。
	音楽	[Slide] ボタンをクリックした時に、再生する音楽フォルダーを設定します。
	全画面時にデスクトップサイズで表示	スライドショー再生中に [全画面] ボタンをクリックした時に、デスクトップの大きさに合わせて、画面いっぱいに画像を表示します。

[静止画] タブ画面



項目	説明
デジカメ連携	
保存先	画像ファイルを保存するフォルダーを指定します。
保存先に作成されるフォルダを月単位で作成する	デジタルカメラからの画像ファイルを、月単位に整理して登録します。 チェックを入れないと、日単位で作成されます。
登録時に元のファイルを削除する	登録した画像ファイルは、デジタルカメラの中から削除することができます。
ライブラリ操作	
回転時にオリジナルの画像を残す	右回転 / 左回転の操作を行う際に、回転前の画像ファイルを残したまま、回転後の画像ファイルを新規作成します。

重要

- デジタルカメラによっては、パソコンからのファイル操作ができない場合があります。デジタルカメラに付属のマニュアルでご確認ください。

3章

3章 映像データを管理、編集しよう

録画した映像を編集したり、ほかのディスクにコピーしてみましょう。さらに、収録した映像や画像、音声などのデータファイルを編集してみましょう。

>> ・映像データファイルを管理する (P.22)
>> ・画像データを保存する (P.25)
>> ・画像データを見る / 音声データを聴く (P.26)
>> ・画像データを印刷する (P.27)
>> ・映像データを収録、編集、保存しよう (P.28)

映像データファイルを管理する

ここでは、パソコンに収録した映像を、DVD や HDD の別のフォルダーに移動する方法について説明します。

重要
- DVD に書き込みできないモデルもあります。
- DVD に書き込みができないモデルでは、DVD に移動できません。

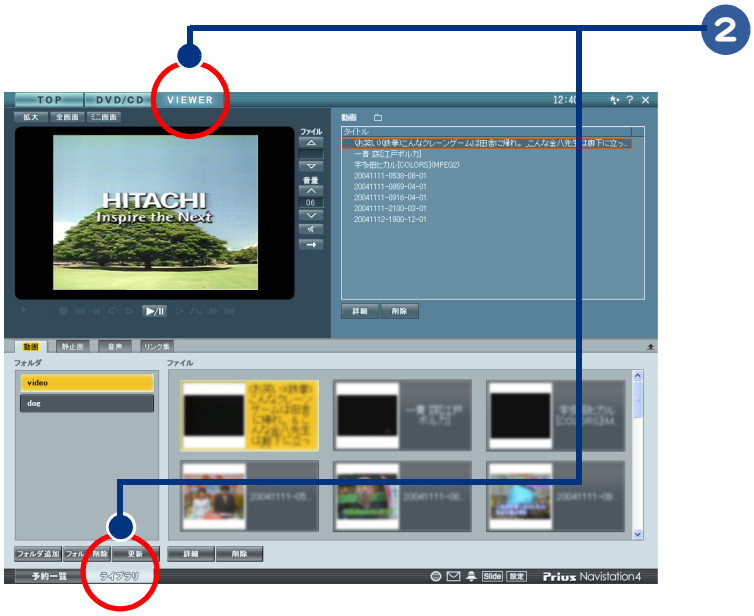
ディスクに移動する

1 DVD-RAM に移動する場合は、DVD-RAM をフォーマットする HDD 内の別フォルダーに移動する場合は、移動先のフォルダーを作成する

参照
- DVD-RAM のフォーマット方法について→ 3 章の「DVD-RAM をフォーマットする」(P.29)
- HDD のフォルダー作成方法について→電子マニュアル『パソコン入門』3 章の「ファイルを整理するフォルダーを作ろう」

2 [VIEWER] ボタン、画面左下の [ライブラリ] ボタンをクリック

[ライブラリ] 画面が表示されます。

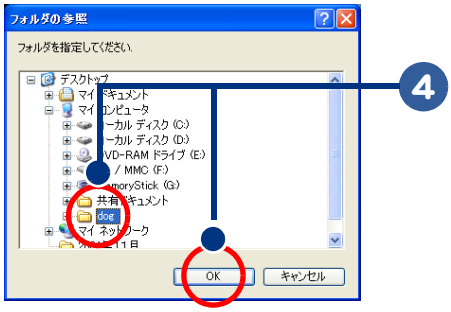


③ 移動したいデータに合わせ、[動画][静止画][音声]のいずれかをクリック

データのタイトル一覧が表示されます。

④ 画面左下の[フォルダ追加]ボタンをクリックし、追加したいドライブやフォルダーを選択して[OK]ボタンをクリック

フォルダーが作成されます。



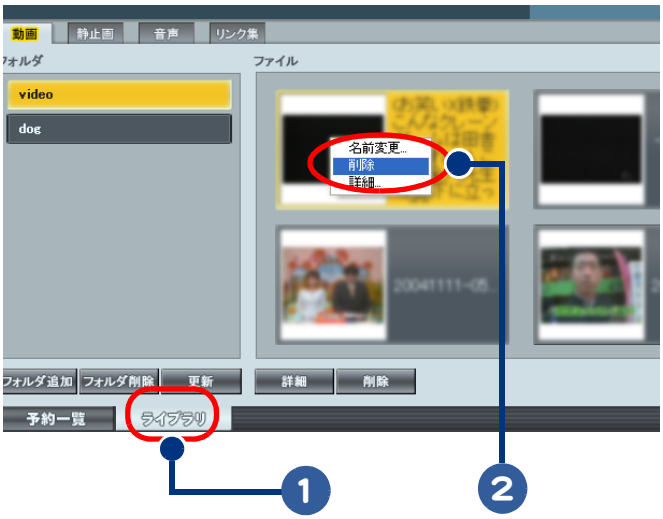
⑤ 移動したいデータを、ドラッグアンドドロップで追加したフォルダーに移動する

映像データを削除する

1 画面下にある［ライブラリ］ボタンをクリック

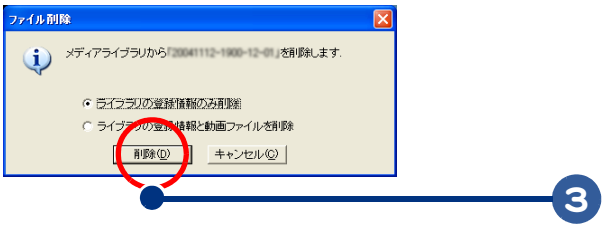
2 削除したい映像データを右クリックし、［削除］をクリック

削除を確認する画面が表示されます。



3 ［削除］ボタンをクリック

映像データが削除されます。



重要 ●［ライブラリ］の登録情報と録画ファイルを両方削除する場合は、［ライブラリの登録情報と録画ファイルを削除］を選択してください。

画像データを保存する

ここでは、デジタルカメラなどの画像データをパソコンに保存する方法を説明します。

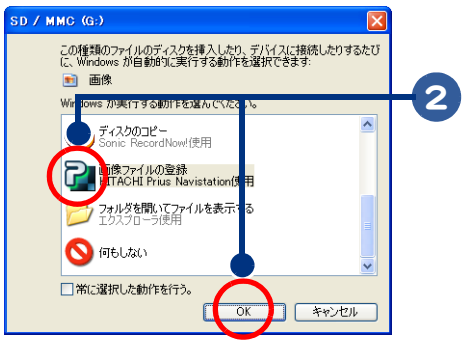
1 デジタルカメラに接続した USB ケーブルをパソコンの USB コネクターに接続する

[Windows が自動的に実行する動作の選択] 画面が表示されます。

ヒント ● デジタルカメラに添付のソフトウェアをインストールした後や、デジタルカメラをパソコンが認識している場合、この画面は表示されません。プリウスナビを立ち上げ、手順 3 より行ってください。

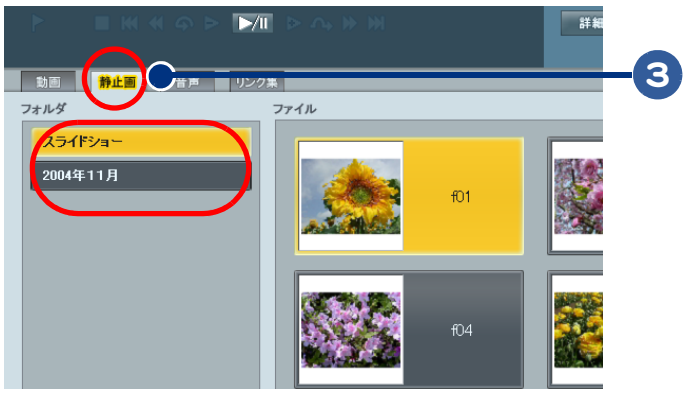
2 [画像ファイルの登録] を選択し、[OK] をクリック

メニュー画面が消え、パソコンへのデータ保存が開始されます。
保存が完了すると、プリウスナビが立ち上がり「ライブラリ」ウィンドウが表示されます。



3 [静止画] ボタンをクリック

保存されたデータの新規フォルダーが「ライブラリ」に表示されます。



画像データを見る / 音声データを聴く

ここでは、パソコンに収録した画像データを見たり、音声データを聴く方法を説明します。

1 [VIEWER] ボタンをクリックし、画面左下の [ライブラリ] ボタンをクリック

2 再生したいデータに合わせて、[動画][静止画][音声] のいずれかをクリック

データのタイトル一覧が表示されます。

3 再生したいタイトルをクリック

データが再生されます。

画像データを印刷する

ここでは、パソコンに収録した画像データを印刷する方法を説明します。

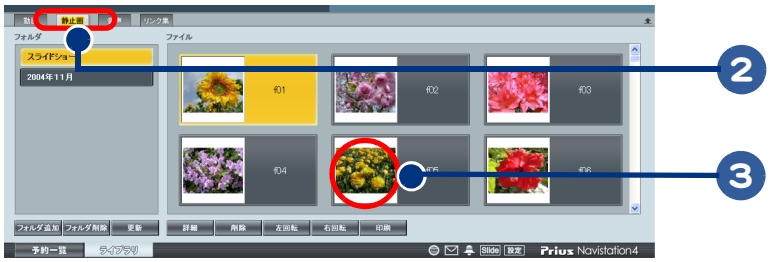
1 [VIEWER] ボタンをクリックし、画面左下の [ライブラリ] ボタンをクリック

2 印刷したいデータに合わせて、[静止画] ボタンをクリック

静止画データの一覧が表示されます。

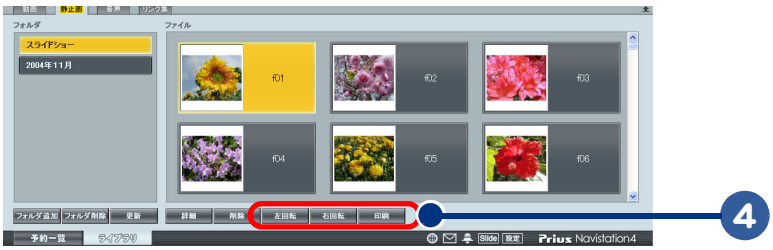
3 印刷したい静止画をクリック

静止画データが拡大表示されます。



4 静止画の向きを変えたい場合は [右回転][左回転] をクリックし、[印刷] ボタンをクリック

静止画データが印刷されます。



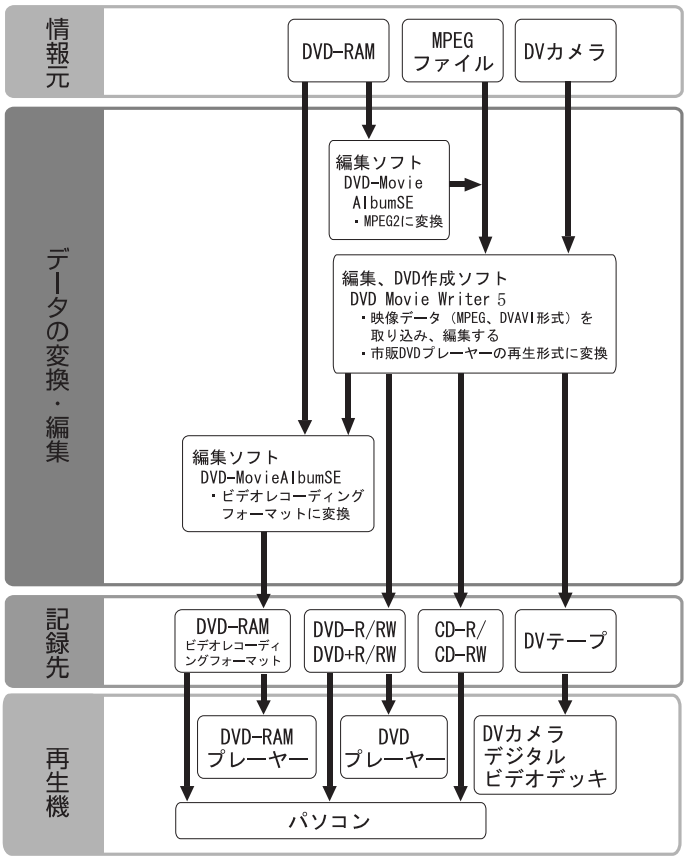
映像データを収録、編集、保存しよう

動画や、ビデオカメラで撮った映像などをパソコンに取り込んで編集し、DVD-RAM などに保存することができます。
ここでは、映像データ（MPEG 形式）の取り込み、映像データの編集、映像データの保存などを説明します。

重要
- DVD に書き込みができないモデルもあります。
- DVD に書き込みができないモデルには、DVD-MovieAlbumSE や DVD-RAM ドライバーが添付されていません。

映像データを収録、編集、保存する流れ

次の流れで、映像データの収録、編集、保存を行います。



ヒント
- DV カメラ：デジタルビデオカメラ

映像データをディスクやデジタル機器に出力する

編集した映像データを、DVD-RAM やデジタル機器に保存します。

重要
- DVD に書き込みができないモデルもあります。
- DVD に書き込みができないモデルには、DVD-MovieAlbumSE や DVD-RAM ドライバーが添付されていません。

映像を DVD-RAM に保存する

DVD-RAM をご購入後、はじめて使用するときは、フォーマットする必要があります。DVD-RAM をフォーマットするには、「DVDForm」を使います。
フォーマットすると、HDD と同じように操作できます。

DVD-RAM をフォーマットする

DVDForm を使って DVD-RAM をフォーマットするときは、次のようにします。

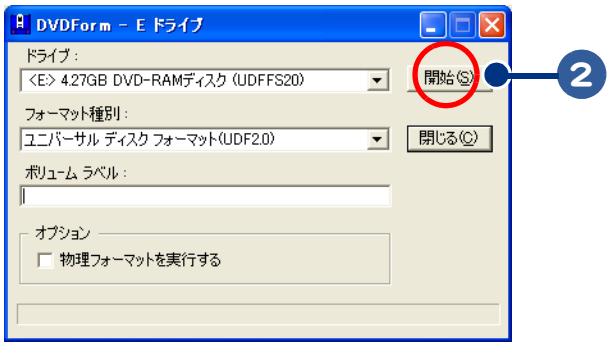
1 [スタート] ボタン－ [すべてのプログラム] － [DVD-RAM] － [DVD-RAM ドライバー] － [DVDForm] をクリック

フォーマット画面が表示されます。

2 次のように設定して、[開始] ボタンをクリック

ドライブ　：DVD-RAM ディスク
フォーマット種別　：ユニバーサルディスクフォーマット UDF2.0
ボリュームラベル　：必要に応じて入力してください

フォーマットが始まります。



重要
- フォーマット種別で UDF 形式を選択した場合、ボリュームラベルを入力してください。入力しないと”PANA-UDF”が自動的に設定されます。
- DVD スーパーマルチドライブに未フォーマットの DVD-RAM を入れ、マイコンピュータの DVD マルチドライブアイコンをダブルクリックすると、FAT32 形式でフォーマットできます。UDF 形式でフォーマットする場合は、「DVDForm」をお使いください。
- DVD スーパーマルチドライブで、DVD-RAM ディスクへ書き込みを行う場合は、OS 標準の「CD 書き込み機能」を ON に設定しないでください。ドライブのプロパティーから、「書き込み」タブを選択し、「このドライブで CD の書き込みを有効にする」のチェックを外します。工場出荷時は、チェックが外れています。
- DVD-RAM をフォーマットするときは、節電機能を設定しないでください。フォーマット中に節電状態になるとフォーマットが失敗します。失敗したときは、節電機能を「なし」に設定し、再度フォーマットを行ってください。

参照 節電機能について→電子マニュアル「パソコン応用」2 章の「節電機能を使用するとき」

ヒント
- フォーマットにかかる時間は、ディスクの種類によって異なります。
- DVD-MovieAlbumSE で使用する DVD-RAM をフォーマットするときは、「UDF 2.0 形式」にしてください。

動画を、ビデオレコーディング形式で DVD-RAM に保存する

動画を DVD-RAM に保存する場合は、DVD-MovieAlbumSE を使います。この方法で保存すると、DVD-RAM に対応した DVD ビデオレコーダーで再生できます。

参照 DVD-RAM を使用した動画データの編集やディスクの書き込みについては、[スタート] ボタン－ [すべてのプログラム] － [Panasonic] － [DVD-MovieAlbumSE] － [取扱説明書] を参照ください。

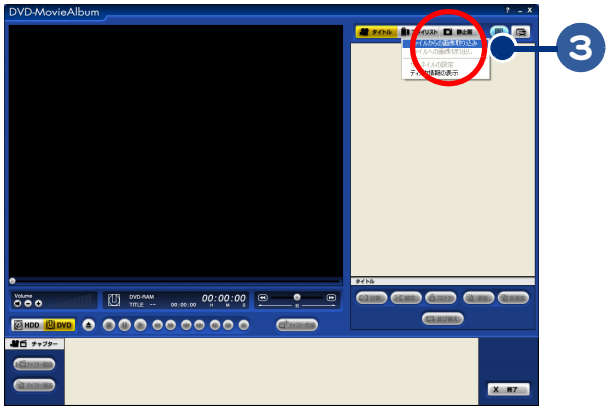
1 [スタート] ボタン－ [すべてのプログラム] － [Panasonic] － [DVD-MovieAlbumSE] － [DVD-MovieAlbumSE] をクリック

DVD-MovieAlbumSE が立ち上がります。

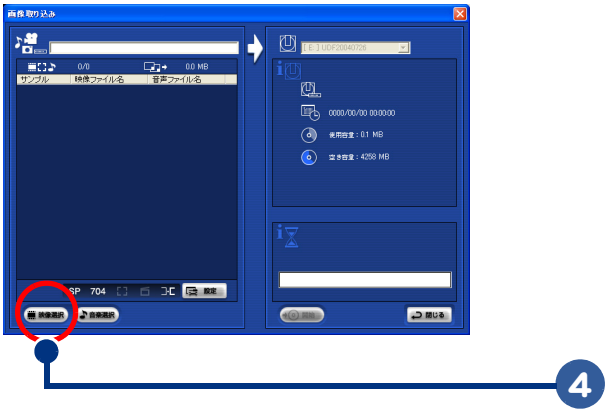
2 UDF2.0 形式でフォーマットされた DVD-RAM を、DVD-RAM 書き込み可能ドライブに入れる

3 [補助機能] ボタン－ [ファイルからの画像取り込み] をクリック

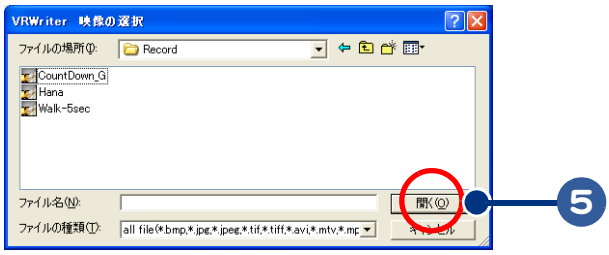
[画像取り込み] 画面が表示されます。



4 [映像選択] ボタンをクリック



5 目的のファイルを選択し、[開く] ボタンをクリック



6 [開始] ボタンをクリック

DVD-RAM に書き込まれます。

参照 → DVD-RAM を再生する方法について→ 1 章の「DVD を見てみよう」(P.6)

ヒント
- DVD-MovieAlbumSE で編集した映像を DVD-RAM に保存する場合は、DVD スーパーマルチドライブが必要です。また保存した映像は、DVD-RAM の読み込みに対応する DVD ドライブでご覧になれます。
- DVD-MovieAlbumSE を立ち上げたとき、「ドライブ E: は、他のアプリケーションで使用中です。」などと表示される場合があります。(ドライブ E: は CD/DVD ドライブ名)
  このときは、ドライブ E の中を表示しているウィンドウやドライブ E を使用しているアプリケーションをすべて終了し、[再試行] ボタンをクリックしてください。
- DVD-RAM メディアが認識されない場合は、次の手順でドライブを変更してください。
  [環境設定] ー [デバイス設定] ー [ドライブ選択] をクリックし、DVD-RAM を書き込み可能なドライブに変更する。
- DVD-MovieAlbumSE を使用中に、DVD-RAM ディスクを取り出すときは、アプリケーションの [取り出し] アイコンをクリックします。

重要
- DVD-MovieAlbumSE 以外で書き込んだデータは動作しません。
- 映像を記録・編集したものは個人またはご家族でお楽しみください。これ以外は著作権上、著作者に無断で使用できません。

DVD-RAM のデータをコピーする

ビデオフォーマットに変換した映像データを HDD にコピーして保存するときは、「DVD-MovieAlbum コピーツール」を使います。
さらに、このコピーツールで保存した映像データを別の DVD-RAM に保存することもできます。

重要
- コピーツールは、ビデオレコーディングされた DVD-RAM のデータをコピーするものです。ビデオレコーディングされたデータ以外のデータはコピーできません。

DVD-RAM のデータを HDD にコピーする

1 [スタート] ボタンー [すべてのプログラム] ー [Panasonic] ー [DVD-MoviAlbumSE] ー [DVD-MovieAlbum コピーツール] をクリック

2 [▼] ボタンをクリックし、DVD-RAM ドライブをクリック

3 [タイトル選択] ボタンをクリックしてコピーするデータを選択し、コピー先のフォルダーを選択して [OK] ボタンをクリック

4 [開始] ボタンをクリック

コピーが終了すると、[コピーが終了しました] メッセージが表示される。

5 メッセージが表示されたら [OK] ボタンを押し、[×終了] ボタンを押す。

ヒント

- [ハードディスク→DVD-RAM] タブをクリックすると、上記の手順と同様にして HDD のデータを DVD-RAM にコピーできます。
- コピー元の参照フォルダーには保存時に作成された「DVD_RTAV」を選択してください。ただし、HDD から DVD-RAM にコピーできるデータはこのコピーツールで保存したデータだけです。

4章

4章　動画 Q&A

操作中にわからないことがありましたら、ここをお読みください。

>> ・Q&A(P.34)

Q&A

Q・・・・よくある質問です。

A・・・・その答えです。

Q 動画を全画面で表示したい

A
- 画面左上の[全画面]ボタンをクリックしてください。元に戻すには、[Esc] キーを押します。

Q コマ落ちやブロックノイズが多発する。

A
- ほかのアプリケーションを立ち上げていないかご確認ください。プロセッサーに負荷となる操作や、ディスクアクセスが発生する操作をすると、プリウスナビ の動作が乱れ、コマ落ちが発生してしまいます。プリウスナビを使用中は、ほかのアプリケーションを立ち上げないでください。

Q 再生・録画処理が停止する。

A
- DVD 視聴中は、ユーザー切り替えを行うと再生が停止し、元のユーザーに戻っても DVD は自動再生されません。再生ボタンを押して DVD の再生を行ってください。このとき DVD は最初から再生されます。
- 録画中にユーザー切り替えを行うと、録画が停止します。元のユーザーに戻っても録画は継続されません。

Q 動画視聴時に音が出ない。

A
- [サウンドとオーディオデバイスのプロパティ] − [音量] タブで [デバイスの音量] の [ミュート] がチェックされていないことをご確認ください。
- [サウンドとオーディオデバイスのプロパティ] − [音量] タブで [デバイスの音量] の [ミュート] がチェックされていないことをご確認ください。

Q 動画視聴時に映像と音がずれている。

A
- メモリーに常駐するアプリケーションやドライバーによっては、プリウスナビの動作に影響を与え映像や音がずれることがあります。このような場合は、それらのアプリケーションやドライバーを外してください。
- デスクトップに Web ページを表示している場合、メモリーや CPU リソースを消費するために、映像と音がずれることがあります。この場合、デスクトップに Web ページを表示しない設定にしてください。

参照 → ディスプレイ画面の変更方法について→電子マニュアル『パソコン応用』1 章の「ディスプレイを調整する」

Q プリウスナビの実行中にゲームなどのプログラムを実行すると、パソコンが応答しない。

A
- プリウスナビは、Windows の DirectX 機能を使用しています。DirectX では、全画面アプリケーションは一度にひとつしか実行できません。DirectX を使用したアプリケーションを立ち上げるとパソコンが応答しなくなる場合があります。

Q DVD を再生できない。

A
- DVD が正しく挿入されていることをご確認ください。
- DVD タイトルには、リージョンコードと呼ばれる地域別の視聴制限情報を付加したものがあります。本製品はリージョンコード 2 に対応しています。国外で購入した DVD タイトルなど、リージョンコード 2 に対応していないものは再生することができません。映像方式は NTSC のため、NTSC 仕様以外の DVD タイトルは再生できません。
- 「DTS」デコードには対応していません。音声が出ない場合は、DVD メディア自体のメニューから「Dolby Digital」を設定してください。

パソコンが勝手に立ち上がった。

● 次の場合に、パソコンは自動で立ち上がります。
・メール着信を表示している場合

スクリーンセーバーが動作してしまう。

● TV や DVD を長時間見ていると、スクリーンセーバーが動作してしまう場合があります。このような場合は、スクリーンセーバーの設定を [なし] にしてください。

その他、次の項目をご確認ください

● 製品添付のソフトウェアに関する情報は、各アプリケーションの提供元のホームページをご覧ください。

● 「ライブラリ機能」は各ユーザーごとに別々に情報を保存します。録画フォルダーが共有ドキュメントにある場合は、録画ファイルからライブラリの更新ができますので、録画フォルダーで更新してください。

● プリウスナビで DVD や CD を再生するためには、WinDVD および WinDVDX がインストールされている必要があります。WinDVD および WinDVDX をアンインストールするとプリウスナビで DVD や CD の再生ができなくなります。

さくいん

D

DirectX 34
DVD 6
DVD-RAM 22
[DVD] タブ画面 18

P

Prius Ring 12, 17

T

[TOP] タブ画面 17

お

オーディオ 18

し

視聴者管理 18

す

スライドショー 19

せ

静止画 25
[静止画] タブ画面 20
[全般] タブ画面 15

と

ドルビーバーチャルスピーカー 6
ドルビーヘッドホン 6

は

パスワード変更 18

ふ

ブロックノイズ 34

ら

[ライブラリ] タブ画面 19

れ

レジューム機能 18

他社製品の登録商標および商標についてのお知らせ

・Dolby、ドルビー、Prologic およびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
・その他の製品名はすべて、それぞれの所有者の著作権および登録商標 / 商標です。

プリウスナビを楽しもう！

ー Prius Navistation4 の使い方ー

初　版　2006 年 7 月

無断転載を禁止します。

落丁・乱丁の場合はお取り替えいたします。

株式会社　日立製作所

ユビキタスシステム事業部

〒 244-0817　神奈川県横浜市戸塚区吉田町 292 番地

お問い合わせ先 : 安心コールセンター　0120-885-596

© Hitachi, Ltd.2006.All rights reserved.

再生紙 **このマニュアルは、再生紙を使用しています。**

PR0S734PC-1